

# もっと、手話を 学んでみませんか？

宮古島市では、手話のことをもっと知ってもらったり、地域のろう者との交流が広がることを願って、年間を通じた講座や学校等への出前講座などを行っています。



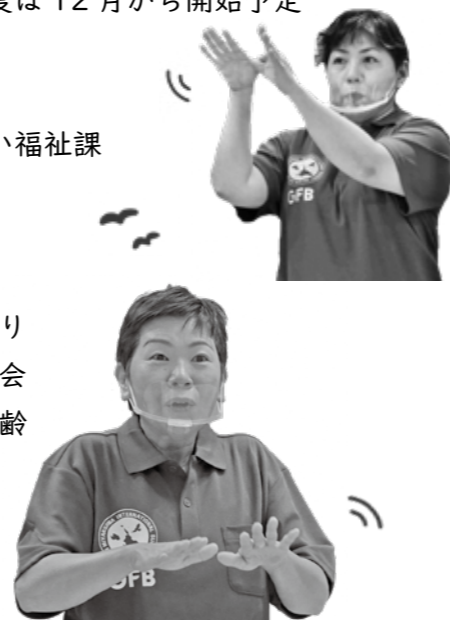
## ○出前講座 ※2ページ参照



## ○手話奉仕員養成講座

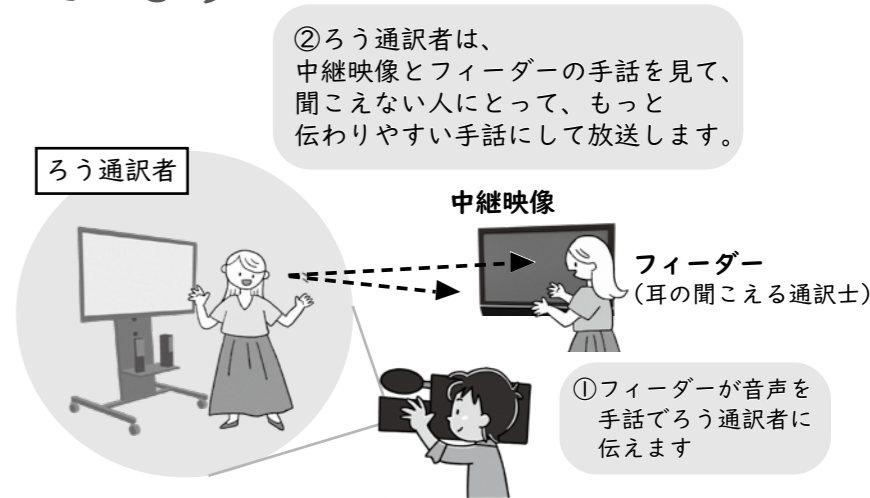
宮古島市主催の、地域のろう者と手話で日常会話ができることを目標とした手話奉仕員養成講座です。約1年間を通して、仲間とともに手話を学んでいきます。

開催時期	今年度は12月から開始予定
受講料	無料
定員	15名
申し込み	障がい福祉課



## ○ろう通訳の活躍が広がっています

手話通訳は、今まで聞こえる人が担ってききましたが、最近では聞こえない人が担う「ろう通訳」の活躍も広がりつつあります。「ろう通訳」では、聞こえる通訳者以上に手話ネイティブとしてより細やかでわかりやすい情報保障ができるとして、今後の広がりが期待されています。ちなみに、NHK・Eテレで生放送された東京オリンピック閉会式・パラリンピック閉会式で手話通訳をしていたのはろう通訳です。



手話の活動が  
広がって  
きています

## ○聴覚障害者のための国際スポーツ大会がある！

意外と知られていませんが、オリンピック・パラリンピックには聴覚障害選手は含まれていません。聴覚障害選手にはデフリンピック（デフとは聴覚障害の意味）と呼ばれる国際大会が別に開催されています。アジアで開催されたのは過去に台湾のみです。現在、2025年大会の日本開催に向け、招致に取り組んでいます。東京オリパラに続いて、日本でデフリンピックが開催される日が楽しみですね！



## ○24時間対応の「電話リレーサービス」！

令和3年7月から公共インフラとして「電話リレーサービス」が始まりました。24時間365日利用可能で、緊急通報もできます。聞こえる人からも聞こえない人からも、双方向で通話が可能です。（手話だけでなく文字チャットも対応可能。）利用を希望する聴覚障害者は、事前登録が必要です。電話でのホテルやお店、病院の予約などのほかにも夜間の救急や災害時など、緊急で電話が必要なときにも役立ちます。



## ○手話サークル

宮古島市内には現在4つの手話サークルがあります。それぞれのペースで集い、ろう者との会話を楽しみながら手話を勉強しています。年齢層も子どもから主婦、定年を迎えられた方までさまざまです。興味のある方はお気軽に障がい福祉課へお問い合わせください♪

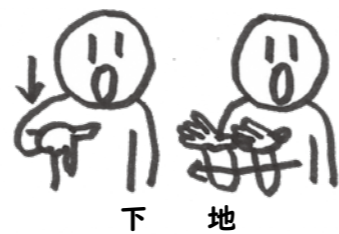


## ～宮古の名字編～



動画は  
こちらから♪

3ページの自己紹介と  
組み合わせてやってみよう！  
あなたの名字はあるかな？



問 障がい福祉課 ☎ 73-1975